

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 大学連携による文化芸術人材育成推進事業（R8分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 文化創造課 文化振興係 電話番号：058-272-1111（内3117）

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 1,992 千円 （現計予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	1,992	963	0	0	0	0	0	0	1,029
決定額	1,992	963	0	0	0	0	0	0	1,029

2 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

メディア芸術(マンガ、アニメーション、ゲーム等)は、新たな芸術の創造など芸術活動全体を活性化させるとともに、観光や国際文化交流などの分野でも海外から高く評価され関心も高まっている。

一方で、制作方法のデジタル化・多様化に伴い、人材育成には専門的指導者が必要となるが、学校教育においては教師個人への依存度が高く、継続的な教育体制の構築が課題となっている。

（２）事業内容

東京藝術大学との連携により、県内高等学校における専門的な文化芸術教育の機会を提供し、芸術分野に関心を持つ高校生の進路形成支援及び創造的な人材の育成を図る。

①ワークショップ形式の授業

県内の美術・デザイン系コースを持つ高等学校において、東京藝術大学講師によるワークショップ形式の授業等を実施

②地域社会との連携

成果発表の場として、地元企業等が主催・参画するイベントを想定し、文化芸術を活用した地域振興・まちづくりにもつながる取組みとする。

（３）県負担・補助率の考え方

本県の文化振興を図る重要な事業であり県負担とする。
(地域未来交付金)

（４）類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	65	業務旅費
委託料	1,927	企画運営業務委託
合計	1,992	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創成総合戦略
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - ①「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承
- 岐阜県の教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する大綱
 - 基本方針6 生涯を通じた学び、文化芸術の振興
- 第4次岐阜県教育振興基本計画
 - 施策IV 24 文化芸術やスポーツなどの才能や個性を伸ばす機会の充実

(2) 国・他県の状況

平成29年の文化芸術基本法の改正における「メディア芸術の振興」について、必要な施策の例示に「物品の保存」、「展示」、「知識及び技能の継承」、「芸術祭の開催」などへの支援を追加。

(3) 後年度の財政負担

継続的な事業の実施が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

大学等と連携して、社会課題やニーズに対応できるよう自らの知識や技術を高め、文化芸術分野におけるキャリア形成を支援するとともに地域社会の持続的な発展に貢献する高度な人材の育成を図るため、県が主体的に行うことは妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

大学等と連携して、社会課題やニーズに対応できるよう自らの知識や技術を高め、文化芸術分野におけるキャリア形成を支援するとともに地域社会の持続的な発展に貢献する高度な人材を育成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R6)	R7年度 実績	R8年度 目標	R9年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合（高等学校）	85.2%				90.0%	
②岐阜県や自分の住んでいる地域の魅力を伝えることができる高校生の割合	65.8%				80.0%	

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>
令和6年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

文化芸術分野における人材育成には専門的指導者が必要となるが、学校教育においては教師個人への依存度が高く、継続的な教育体制の構築が必要。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

文化芸術分野におけるキャリア形成を支援、地域社会の持続的な発展に貢献する高度な人材の育成を継続する必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】